

「人権」って何だろう

社会の中の人権問題

テレビやニュースサイトで、人権に関する記事や報道を見聞きすることはありませんか。

近年の一例として、大手企業内での性被害告発やイスラエルによるガザ地区侵攻、同性婚に関する裁判などが挙げられます。これらの人権問題は別々なようで関連があり、日常的に自分事として考えることが大事です。

「人権」って何だろう

そもそも「人権」とは、もともと英語の「human rights(ヒューマンライツ)」を和訳したものです。

ここで注目してもらいたいのは、権利を意味する「right」が複数形になっているという点です。このことから、「人権」とは人間が持っているいくつもの「権利」の総称であることが分かります。

もう一つ重要なのは、ここでいう「権利」は、わがまま(自分勝手)ではなく、「社会全体が守るべきルール(法律など)」にの

とり、誰かに求めることができるもの」だということです。

例えば、私たちは労働して、その分の報酬をもらう権利があります。性別や人種によって報酬に差を作ることとは、その人の権利を侵害していることになりま

す。当たり前のことのようですが、これも基本的な「権利」のうちの一つです。基本的人権は、誰もが生まれながらに持っているものです。人格や行動、出自、経歴、財産などによって個別に判断されるものではありません。

そういった基準を理由に、他者が持っている権利を認めないことを差別といいます。他者の権利を奪う「権利」は誰にもありません。だからこそ、自分の「権利」と相手の「権利」のどちらも尊重する姿勢が求められるのです。

差別のない菊池市をめざして

私たちが持つ大切な人権を守り、差別をなくしていくための取り組みの一步として、菊池市では令和4年7月から「人権未来都市」を宣言しています。

【問い合わせ先】
人権啓発・男女共同参画推進課
☎0968(25)7209

この宣言は、市内で実際に発生した企業による部落差別発言事件(令和3年)と、部落差別落書き事件(令和4年)を教訓としてつくられたものです。

人権を大切にするまちとは、すなわち住んでいる人を大切にすまちです。一人一人が自らの人権意識を向上させることが、菊池市の発展につながります。大事なことは、どんな形でもいいので、人権について繰り返し学ぶことです。そして一緒により良いまちづくりに関わっていきましよう。

この宣言が掲げる「誰もが幸せを享受することができる菊池市」の確かな実現のために、市民全体で人権尊重の声を上げ、行動につなげていきましよう。



菊池市人権未来都市宣言 (YouTube)

守り継がれる

無形民俗文化財 ①

【問い合わせ先】文化課 ☎0968(41)7515

◆稗方神楽

稗方に伝わる稗方神楽は、今からおよそ150年前から今日まで一度も絶えることなく継承されてきました。

現在では7人の稗方神楽保存会の皆さんによって伝えられ、12月の稗方菅原神社の祭日(同じく菊池市指定無形民俗文化財である嫁とり祭りの翌日)と4月、10月の菊池神社の大祭日に奉納されています。

神楽は阿蘇神社に起源を持つ肥後神楽の流れをくむもので、素朴な太鼓・笛のリズムに乗せて、勇壮な舞が展開されます。演舞は奉剣の舞、榊の舞、参舞、御幣の舞、弓剣の舞、弓の舞、四剣の舞、歌神楽、二天の舞、地固の舞の10座が伝承されています。

神楽の中には、リズムカルな歌神楽や神様と鬼が会話のやりとりを行う二天など、他の神楽とは異なる特異なものがあります。



地固の舞



榊の舞



奉剣の舞

国史跡

菊池氏遺跡

【問い合わせ先】文化課 ☎0968(41)7515

◆吉野朝廷を奉じた菊池氏

先日、奈良県の吉野町より、ヤマザクラの寄贈がありました。なぜ吉野町から?と疑問に思った人もいるかもしれませんが、せん。実は菊池市と吉野町とは、深いつながりがあります。

今から650年以上昔、朝廷が京の北朝と奈良の南朝に分裂した時期がありました。全国の武士団は、自分の都合のよい朝廷に従いましたが、菊池氏は南朝を正当と信じて、裏切ることなく従ったといわれています。

吉野の後醍醐天皇は皇子の懐良親王を預けるほど菊池を信頼し当主武光は、朝廷の権威を後ろ盾に、一時は九州のほぼ全土を従えるほどでした。

菊池市と吉野町は、南朝に関連した自治体で構成する「全国南朝の歴史資産等所在市町村活性化協議会」に加盟しており、650年以上の時を経て、再びつながりが生まれています。このつながりを大切にしていきたいと思います。(関連26ページ)

農業委員会だより

【問い合わせ先】
農業委員会
☎0968(25)7235

■令和7年度総会予定表(案)

総会月	議案書締切日	総会日
5月	4月22日(火)	5月12日(月)
6月	5月26日(月)	6月10日(火)
7月	6月25日(水)	7月10日(木)
8月	7月25日(金)	8月12日(火)
9月	8月25日(月)	9月10日(水)
10月	9月25日(木)	10月10日(金)
11月	10月24日(金)	11月10日(月)
12月	11月25日(火)	12月10日(水)
1月	12月22日(月)	令和8年1月9日(金)
2月	令和8年1月26日(月)	2月10日(火)
3月	2月25日(水)	3月10日(火)

■市農作業受託料(参考) (10a当たり消費税込み)

作業別	条 件	金 額
耕起	—	5,500円
代かき	—	9,000円
田植	植え付けのみ	9,000円
防除	1回当たり(薬剤代別)	2,000円
稲収穫	カッター(運搬費含む)	13,500円
	倒伏田カッター(運搬費含む)	上記の2.5割~5割増し(倒伏状態による)
麦収穫	運搬費含む	10,450円
大豆収穫	運搬費別	8,800円
乾燥	乾燥(米)	2,035円/1俵

上記の金額は、ほ場整備地区を基準とした受託料です。作業条件(農地の形状や面積の大小など)および経済的変動(燃料や資材の高騰など)を考慮し、お互いの合意の上で決定してください。また、農業委員会では、農作業受託料に関しましては一切関与しません。

産官学金でまちづくり ①

【問い合わせ先】
市長公室政策企画係
☎0968(41)4488

市では、市民サービスの向上や地域活性化を目的に、企業や大学、各種団体などと包括連携協定を締結しています。連携事業による取り組みを隔月で紹介します。

◆第一生命

熊本に支社を開設して今年で105年。県下では約600人の社員がお客さまに寄り添い、安心と信頼をお届けしています。

菊池市と第一生命は、令和4年3月に包括連携協定を締結しました。この協定は、健康増進や子育て支援などの協働を通じて、市民の皆さまの「健康」と「安心」を支えることが目的です。

昨年は、5月の「春の健康まつり」や7月の「みんなのSDGsフェスティバル」で、血管年齢測定やベジチェックなどを実施し、市民の皆さまの健康意識向上に貢献しました。

9月13日には「働く女性向けウェルライフセミナー」を開催。「上質な睡眠」と「綺麗な姿勢と歩き方」をテーマに、第一生命経済研究所の講師を招いて講演を行いました。(関連8ページ)

同月21日には、市ふるさと創生市民広場で、障がい者施設の



市の各種イベントで、血管年齢測定やベジチェックなどを実施

皆さまが作製した商品の販売会を行いました。市後援の販売会は今回2回目で、お昼時には広場に立ち寄ったご家族連れがお弁当を購入されるなど、和やかな雰囲気でした。

さらに、企業版ふるさと納税(人材派遣型)を活用し、令和5年から2年間にわたり第一生命社員を菊池市役所へ派遣。健康づくり推進事業に従事しました。今後もこれまでの協働の取り組みを継続し、菊池市の皆さまの生涯のパートナーとして努力してまいります。